

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号	06 04 08	中期総合計画主要施策番号	1-04、2-02	担当課	部・課	環境部自然保護課	
事業名	自然環境整備支援事業			内線	2773		
				E-mail	shizenhogo@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	長野県の国定公園等における公園施設を整備し、自然環境の保全と利用を図る。					
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 国定公園等の登山道等の施設の管理や整備は、その設置経過により県と市町村等によって行われている。近年、利用者や利用形態の変化等により、施設管理に身近な市町村の公園施設の再整備等が求められている。					
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 中高年者やツアー登山者など多様な登山者の増加、山岳環境の保全から、登山道、駐車場、トイレ等の再整備が必要とされるが、市町村の財政は厳しく、単独では施設整備が進まない。					
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 国定公園等の登山道等の施設整備については、県とともに、地域の実情をふまえ、市町村がきめ細かな公園施設整備ができるよう補助する必要がある。					
	事業内容	国定公園・中部北陸自然歩道において、市町村が行う歩道等の施設整備に対する補助を行う。補助率45/100					
実施期間	H17 ~	根拠法令等	自然公園法、自然環境整備交付金交付要綱、自然環境整備支援事業補助金交付要綱				
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H19)		達成状況		評価
	国定公園等の保全と利用を進める自然環境整備計画に沿った市町村による公園施設整備を行い、自然環境の保全と利用を図る。		駐車場・公衆トイレ・歩道など、適正な公園利用のための施設整備を必要とする市町村に対して補助を行うこと。		平成20年度については、歩道・道標・公衆トイレ・駐車場・車道整備など、市町村の要望をくみ入れた補助をすることができた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要
	最終予算額 (A)		千円	31,005	43,538	31,410	国庫・県単 国庫
	決 算 額 (B)		千円	30,063	43,537		実施方法 補助
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	0	0	0	歳出節別内訳等
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.40	0.40	0.40	補助金: 43,537 (単位: 千円)
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	32,919	46,397	34,270	
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績
	補助事業実施箇所		箇所	6	10	7	
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明				
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明 ・自然公園利用者のニーズの多様化に伴い、市町村の実情にあわせた施設整備が必要となっているため、事業のニーズが増加している。 ・交付金は国から県が交付を受けて市町村に補助することになっている。		
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	課題の総括		自然公園利用者のニーズが多様化しているため、市町村の実情に見合った施設整備を支援してゆく必要がある。				